

## 会長就任挨拶

只今、会長に選考いただきました紺野でございます。吉田会長から大役を引き継ぐことになり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

会長の就任にあたり、一言、挨拶申し上げます。

北海道小学校長会は、来年度、昭和32年の発足から65年目を迎える伝統ある組織であります。「正論を以って正道を歩む」の理念の下、全道の会員一人一人が小学校教育の向上のために、真摯な取組を進めてまいりました。その伝統を大切に、皆様と力を合わせ、活動を推進してまいりたいと考えております。

さて今日、学校におきましては、新型コロナウイルス感染症への対応、GIGA スクール構想への取組、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題への対応、働き方改革の推進や教員等の人材確保、人材育成の問題をはじめ、複雑かつ多様な課題に直面しております。

さらには、高学年における教科担任制などの教員定数の改善、公務員の定年延長に関わる取組、北海道胆振東部地震での教訓を生かした学校安全教育、特別支援教育の充実、服務規律の徹底、子どもの貧困・虐待の問題なども、対応しなければならない喫緊の課題であります。

各学校では、新学習指導要領が全面実施された令和2年度から現在に至るまで、コロナウイルスの感染拡大に伴う対応等に奔走し、多くの制約

と苦難の連続の日々を乗り越えてきました。学習指導要領で求められている、社会に開かれた教育課程の実現、「主体的・対話的深い学び」に向けた校内研修の充実等に十分に時間と労力を割けない状況の中創意工夫を重ねてきました。また、一人一台端末の導入は、家庭と学校を結ぶオンライン授業や、今後の授業改善に大きな可能性を感じさせるものですが、授業研究や校外の人との交流が難しい中、その有効活用については未だ道半ばであります。

このような困難な状況にあっても、各学校においては、校長のリーダーシップの下、子どもたちが、変化の激しい時代を生きていくための資質・能力を育成するために、教師一人一人が指導力を高め、ICT活用能力を高めるなど、研究・研修の在り方を工夫し研鑽を積み重ねていくことができるよう、不断の努力を重ねています。

今後も、私たち校長は、このような教育課題や教育改革の推進に取り組んでいかななくてはなりません。時代の変革期を迎えている今だからこそ、これまで以上に、校長のリーダーシップとマネジメント力が問われます。子どもたちと学校の未来を見据え、児童の実態や地域の特性を十分に考慮し、教育目標とその重点を定め、次の時代につながる持続可能なグランドデザインを明確に示すことが必要です。

来年度は、第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会が開催されます。校長の職能向上と本道教育の質の向上を目指して、研鑽を積んでいく大切な機会となります。一昨年は書面開催と紙面交流、昨年はオンライン

開催も取り入れ、コロナ禍において進化を重ねて来ております。旭川大会においても、感染状況を見極めつつ実行委員会と連携して、当面は会同とハイブリッドの両面の準備を進めていくこととしています。いずれにしましても分科会の充実を目指して、これまでの財産を生かしながら議論を深めていくことが、日常の学校経営の充実に結び付くものと考えております。

本日ご参加の理事の皆様方は、それぞれ各地区のリーダーとしてその重責を担われてきたことと思います。地域による実情は様々かと思いますが、各地区校長会が道小という組織を通して、今後も、私たち自らが主体的・創造的に協働していくことが大切であると考えております。

来年度よりコロナ禍の対応ということだけでなく、経費節減に向けた取組としてのオンラインでの会議も計画しております。これからも、この道小という組織を活性化させるとともに、道中、道公教、道教委や市町村教委等の教育関係諸団体などとも連携を図りながら、「チーム北海道」として北海道教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

今後も、各地区校長会の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。森田事務局長共々どうぞ、よろしくお願い申し上げます。